この電子添文をよく読んでから使用してください。

体外診断用医薬品

＊＊2026年6月改訂（第47版）
＊2026年4月改訂（第46版）

承認番号 20800AMY00003000

クラスⅡ免疫検査用シリーズ
免疫グロブリンE単一試験・単一結果用多種抗原キット
イムノキャップ 特異的IgE[注1)]

注1）各構成製品名は、アレルゲンキャップ一覧表参照

【全般的な注意】

⑴本品は体外診断用医薬品であり、それ以外の目的には使用しないで下さい。
⑵診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断して下さい。
⑶電子添文以外の使用方法については保証をしません。
⑷本品に含まれるヒト由来成分については、HBs抗原、HIV抗体及びHCV抗体のスクリーニングにより陰性であることが確認されていますが、感染性のあるものとして取り扱って下さい。
⑸使用する機器の電子添文及び取扱説明書をよく読んでから使用して下さい。
⑹本品には、保存剤としてアジ化ナトリウム0.1％未満が含まれています。また、反応停止液はアルカリ性溶液です。本品の試薬が目や口に入ったり、皮膚に付着したりしないよう注意して下さい。

【形状・構造等（キットの構成）】

本品は以下の試薬を適宜組み合わせて使用します。
⑴アレルゲンキャップ
　アレルゲン結合キャップ（各アレルゲン名についてはアレルゲンキャップ一覧表参照）
⑵酵素標識抗IgE
　β-ガラクトシダーゼ標識マウス抗ヒトIgEモノクローナル抗体
⑶レファレンスキャップ
⑷レファレンス0　（IgE濃度　0　IU/mL）
⑸レファレンス0.35　（IgE濃度　0.35IU/mL）
⑹レファレンス0.7　（IgE濃度　0.7 IU/mL）
⑺レファレンス3.5　（IgE濃度　3.5 IU/mL）
⑻レファレンス17.5　（IgE濃度　17.5 IU/mL）
⑼レファレンス100　（IgE濃度　100　IU/mL）
⑽洗浄剤A
⑾洗浄剤B
⑿基質液
　4-メチルウンベリフェリル-β-D-ガラクトピラノシド
　乳糖水和物
⒀反応停止液

【使用目的】

血清又は血漿中のアレルゲン[注2)]に対する特異的免疫グロブリンE（IgE）量の測定
注2）アレルゲンキャップ一覧表参照

【測定原理】

本法は、蛍光酵素免疫測定法（FEIA）を原理としています。
アレルゲンを結合したスポンジ上で検体中の特異的IgEと反応させると、アレルゲン-特異的IgE複合体が形成されます。次に、酵素標識抗IgEを加えると、特異的IgEと反応し、アレルゲン-特異的IgE-酵素標識抗IgE複合体が形成され、更に基質液を加えると複合体中の酵素量に比例した蛍光物質が形成されます。その蛍光量から特異的IgE量を測定します。

【操作上の注意】

⑴検体/測定試料等の性質、採取方法
1）検体は【使用目的】欄を参照し、血清又は血漿を使用して下さい。
2）抗凝固剤としてEDTA、ヘパリンが使用可能です。
3）検体採取後は2～8℃に保存し、速やかに測定を実施して下さい。
4）採血後7日間以内に測定できない場合には、-20℃以下で保存して下さい。
5）試薬及び保存した検体は常温に戻してから使用して下さい。
6）試薬及び検体は、泡立てないように均一に混和してから使用して下さい。
7）凍結融解を繰り返さないで下さい。
8）高乳び検体や溶血検体は使用しないで下さい。

⑵妨害物質等
次の物質は記載の濃度まで測定値に影響ありませんでした。
ヘモグロビン：500mg/dL、ビリルビンF：18mg/dL、
ビリルビンC：20mg/dL、乳び：1700FTU（構成製品w1ブタクサs及び構成製品t24ヒノキsは1480FTU）

⑶その他
本品はファディア100、ファディア200、ファディア250、ファディア1000 VLS、ファディア5000／Plus（UC-5000、UC-2500及びUC-2500Eタイプ）の専用試薬です。

【用法・用量（操作方法）】

⑴試薬の調製方法
＊＊・洗浄液
　精製水1L又は5Lを用いて調製します。対応する洗浄剤A及び洗浄剤Bについて、ボトル中の全量を所定量の精製水に加えてよく混和して下さい。調製後は、常温で1週間以内に使用して下さい。自動調製機能のある装置をご使用の場合は、機器の取扱説明書を参照して下さい。
・その他の試薬
　そのまま使用して下さい。
　各試薬は常温に戻し、泡をたてないように均一に混和してから使用して下さい。

⑵操作方法
使用機器の取扱説明書に従って必要な情報を入力し、試薬、検体を機器にセットしてアッセイ処理を行います。

アッセイ処理フロー



⑶測定方法
・各レファレンスは二重測定して下さい。
・各レファレンスの濃度と蛍光強度から、標準曲線を作成します。
・各検体より得られた蛍光強度を標準曲線に対応させ、特異的IgE濃度を求めます。
・各レファレンスは総IgEを含むため、その抗体価は国際単位（IU/mL）で表記されますが、標準曲線から求めた特異的IgE抗体価は（UA/mL）で表記し、両者を区別します。

【測定結果の判定法】

0.35UA/mL未満の検体を陰性、0.35UA/mL以上を陽性と判定します。

判定結果とクラスの対応表

検体の濃度（UA/mL）		クラス	判定
	0.35 未満	0	陰性
0.35 以上	0.7 未満	1	陽性
0.7 以上	3.5 未満	2	
3.5 以上	17.5 未満	3	
17.5 以上	50 未満	4	
50 以上	100 未満	5	
100 以上		6	

基準値は条件により変動することがあるため、各施設で設定することが望まれます。

＜判定上の注意＞
診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断して下さい。
0.1UA/mLを超える抗体価の場合、アレルゲンに感作されていることが示唆されます。
0.35UA/mL未満の特異的IgE結果の評価において、総IgEが1000IU/mL以上の場合は高濃度総IgEによる干渉の可能性がある為、注意して評価して下さい（干渉の有無は検体やテストに依存します）。

【臨床的意義】

血中IgE濃度の測定はアレルギー疾患において重要な診断項目となっており、特異的IgEを測定することは原因アレルゲンを検索する上で有用です。

・構成製品 f202 カシューナッツ

カシューナッツ摂取後にアレルギー様症状(蕁麻疹、湿疹、喘鳴、鼻炎、アナフィラキシー等の症状)の既往のある40例(ケースヒストリー陽性群：以下、CH陽性群と略)及び健常者30例(以下、CH陰性群と略)での検討では、CH陽性群の陽性率(感度)は48%、CH陰性群における陰性率(特異度)は100%でした。

	陽性	疑陽性[注3)]	陰性	
CH陽性群 (40例)	48% (19例)	13% (5例)	40% (16例)	P<0.01
CH陰性群 (30例)	0% (0例)	0% (0例)	100% (30例)	

・構成製品 f416 ω-5 グリアジン

小麦依存性運動誘発性アナフィラキシー(WDEIA)と診断された患者50例において、本品及び小麦(f4)に対する特異的IgEを測定し両者の陽性率を比較したところ、本品は小麦可溶性蛋白質全体を用いた小麦(f4)を用いるよりも、高い臨床的感度を示しました。

アレルゲン	陽性	疑陽性[注3)]	陰性
小麦 (f4)	21 (42%)	3 (6%)	26 (52%)
ω-5 グリアジン (f416)	39 (78%)	1 (2%)	10 (20%)

注3)旧判定法(疑陽性：0.35UA/mL以上0.7UA/mL未満)により判定を行った結果です。

【性能】

(1)感度

レファレンスキャップを使用します。

レファレンス0に対するレファレンス0.35の蛍光強度の比は1.5以上です。

レファレンス0.35に対するレファレンス0.7の蛍光強度の比は1.1～2.5です。

(2)正確性

陽性及び陰性であることが既知の管理用検体を測定するとき、それぞれ陽性及び陰性と判定します。

(3)同時再現性

陽性であることが既知の管理用検体を3回同時に測定するとき、蛍光強度のC.V.値は20%以下です。

(4)測定範囲

0.1～100UA/mL

UA：自社で設定した単位です。

注4)測定値が100UA/mLを超えた場合は、専用の希釈液にて検体を希釈して測定することが可能です。ただし、希釈して測定した場合、測定対象であるアレルゲン特異的IgEのアレルゲンに対する反応性の多様性に起因して、必ずしも希釈直線性を示さない場合があることに十分に注意してください。

(5)較正用の基準物質

本品のレファレンス0～100はWHOのIgE標準品(11/234)により検定されています。

(6)相関性

本品とキャップRAST FEIAとの相関を1586例の検体を用いて検討したところ、回帰式 y(本品)＝1.03x(対照品)+0.38、相関係数 r＝0.98と良好な相関性が得られました。[注5)]

注5)構成製品f202 カシューナッツ、f416 ω-5 グリアジンを除く。

・構成製品i3スズメバチ

本品と既承認品(FEIA法)との相関を50例の検体を用いて検討したところ、回帰式y(本品)＝1.17x(既承認品)＋2.03、相関係数r＝0.95の結果が得られました。

特にスズメバチのアレルゲンコンポーネントであるVes v 5陽性検体において、抗体価が既承認品に比較して高い傾向が認められました。

・構成製品w1ブタクサs

本品と既承認品(FEIA法)との相関を196例の検体を用いて検討したところ、回帰式y(本品)＝1.93x(既承認品)＋0.148、相関係数r＝0.95の結果が得られました。

【使用上又は取扱い上の注意】

(1)取扱い上(危険防止)の注意

・検体はHIV、HBV、HCV等の感染の危険があるので感染性のあるものとして取り扱って下さい。検査にあたっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用し、また口によるピペッティングを行わないで下さい。

・本品には、保存剤としてアジ化ナトリウム、5-クロロ-2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オン及び2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オン(3:1)が含まれています。また、反応停止液はアルカリ性溶液です。本品の試薬が目や口に入ったり、皮膚に付着したりしないよう注意し、手袋等を着用して下さい。

・皮脂や唾液の混入を避けるため、使い捨て手袋やマスク等を着用して下さい。

・試薬が誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合には水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けて下さい。

(2)使用上の注意

・電子添文に記載された方法に従って使用して下さい。

・試薬は凍結を避け、貯法に従い保存して下さい。凍結させた試薬は、品質が変化して正しい結果が得られないことがありますので使用しないで下さい。

・使用期限を過ぎた試薬は使用しないで下さい。

・製造番号の異なる試薬を混合しないで下さい。また、同一製造番号であっても試薬の注ぎ足しは行わないで下さい。

・各構成試薬は個別に供給しているので、必要な試薬を適宜補充し、組み合わせて使用して下さい。

・本品の容器を他の目的に転用しないで下さい。

・試薬は開封後なるべく早く使用し、保存する場合は蓋を閉めて貯法に従い保存して下さい。各構成試薬の機器架設後の安定性については以下の表の通りです。

＊＊各試薬の機器架設後の安定性

構成試薬	ファディア200	ファディア250	ファディア1000	ファディア5000 (2500E, 2500EE)
酵素標識抗IgE	4日間 測定しない時はボトルの蓋を閉める。		7日間	
レファレンス 0, 0.35, 0.7, 3.5, 17.5, 100	28日間			非該当
洗浄剤A	非該当			30日間
洗浄剤B	非該当			30日間
洗浄剤(調製後)	7日間 調製後7日以内に使用する。各機器の取扱説明書に従いメンテナンスを行う。			
基質液	5日間 測定しない時はボトルの蓋を閉める。		14日間	5日間
反応停止液	14日間 測定しない時はボトルの蓋を閉める。		14日間	31日間
Sample Diluent	7日間 測定しない時はボトルの蓋を閉める。		非該当	

注6)表に示した日数は、試薬を機器に継続して架設した場合の日数です。

(3)廃棄上の注意

・本品には保存剤としてアジ化ナトリウムが含まれています。鉛及び銅と反応して爆発性の高い金属アジドを生成する可能性があります。廃棄する場合には大量の水で流して下さい。

・検体中にはHIV、HBV、HCV等の感染性のものが存在する場合がありますので、使用後の容器及び廃液は、次の方法等で滅菌処理して下さい。

次亜塩素酸(有効塩素5000ppm)に1時間以上浸漬する。

121℃で20分間以上高圧蒸気滅菌する。

・試薬及び器具等を廃棄する場合には、廃棄の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の規定に従って処理して下さい。

・検体、廃液等が飛散した場合には、消毒用アルコール等でふき取りと消毒を行って下さい。

【貯蔵方法・有効期間】

①アレルゲンキャップ	貯蔵方法、有効期間は下記参照[注7)]	
②酵素標識抗IgE	2～8℃で保存	製造日から24ヶ月
③レファレンスキャップ	2～8℃で保存	製造日から24ヶ月
④レファレンス0	2～8℃で保存	製造日から24ヶ月
⑤レファレンス0.35	2～8℃で保存	製造日から24ヶ月
⑥レファレンス0.7	2～8℃で保存	製造日から24ヶ月
⑦レファレンス3.5	2～8℃で保存	製造日から24ヶ月
⑧レファレンス17.5	2～8℃で保存	製造日から24ヶ月
⑨レファレンス100	2～8℃で保存	製造日から24ヶ月
⑩洗浄剤A	2～8℃で保存	製造日から24ヶ月
⑪洗浄剤B	2～30℃で保存	製造日から24ヶ月
⑫基質液	2～8℃で保存	製造日から24ヶ月
⑬反応停止液	2～30℃で保存	製造日から24ヶ月

注7)アレルゲンキャップの貯蔵方法、有効期間(キットとしての貯蔵方法、有効期間)

特異的IgE k80 ホルマリン	2～8℃で保存	製造日から14ヶ月
特異的IgE m8 ヘルミントスポリウム	2～8℃で保存	製造日から12ヶ月
その他	2～8℃で保存	製造日から24ヶ月

使用期限は外装に記載してあります。

【包装単位】

・イムノキャップ　特異的IgE　アレルゲンキャップ
アレルゲン結合キャップ　1本
(包装単位(個数)はアレルゲンキャップ一覧参照)
・イムノキャップ　特異的IgE　M　酵素標識抗IgE　6本パック
酵素標識抗IgE　100テスト×6本
・イムノキャップ　特異的IgE　レファレンスキャップ
レファレンスキャップ　16個×1本
・イムノキャップ　特異的IgE　L レファレンス(0-100)
レファレンス0, 0.35, 0.7, 3.5, 17.5, 100　1回分×5ストリップ
・イムノキャップ　特異的IgE　M レファレンス0.7, 17.5セット
レファレンス0.7, 17.5　3回分×5ストリップ
・イムノキャップ/エリア L 洗浄剤セット注8)
洗浄剤A　84mL×1本
洗浄剤B　396mL×1本
・イムノキャップ/エリア M 基質液　6本パック注8)
基質液　11mL×6本
・イムノキャップ/エリア M 反応停止液　6本パック注8)
反応停止液　119mL×6本
・Sample Diluent IgE用　50mL×1本

注8)基質液、反応停止液及び洗浄剤セットは、“エリア”“Viewアレルギー39”と共通試薬です。
他に包装がありますのでお問い合わせ下さい。

**アレルゲンキャップ一覧表

	構成製品名		アレルゲン名	個数
	特異的IgE c73	ヒトインシュリン	ヒトインシュリン	10
	特異的IgE c74	ゼラチン	ゼラチン	10
	特異的IgE d1	ヤケヒョウヒダニ	ヤケヒョウヒダニ	16
	特異的IgE d2	コナヒョウヒダニ	コナヒョウヒダニ	16
	特異的IgE d70	アシブトコナダニ	アシブトコナダニ	10
	特異的IgE d71	サヤアシニクダニ	サヤアシニクダニ	10
	特異的IgE d72	ケナガコナダニ	ケナガコナダニ	10
	特異的IgE e1	ネコ皮屑	ネコ皮屑	16
	特異的IgE e3	ウマ皮屑	ウマ皮屑	16
	特異的IgE e4	ウシ皮屑	ウシ皮屑	16
	特異的IgE e5	イヌ皮屑	イヌ皮屑	16
	特異的IgE e6	モルモット上皮	モルモット上皮	16
	特異的IgE e70	ガチョウ羽毛	ガチョウ羽毛	16
	特異的IgE e77	セキセイインコのふん	セキセイインコのふん	10
	特異的IgE e78	セキセイインコ羽毛	セキセイインコ羽毛	10
	特異的IgE e80	ヤギ上皮	ヤギ上皮	10
	特異的IgE e81	羊上皮	羊上皮	10
	特異的IgE e82	家兎上皮	家兎上皮	10
	特異的IgE e83	豚上皮	豚上皮	10
#	特異的IgE e84	ハムスター上皮	ハムスター上皮	10
	特異的IgE e85	ニワトリ羽毛	ニワトリ羽毛	10
	特異的IgE e86	アヒル羽毛	アヒル羽毛	10
	特異的IgE e87	ラット	ラット	10
	特異的IgE e88	マウス	マウス	10
	特異的IgE f1	卵白	卵白	16
	特異的IgE f2	ミルク	ミルク	16
	特異的IgE f3	タラ	タラ	16
	特異的IgE f4	小麦	小麦	16
	特異的IgE f5	ライ麦	ライ麦	16
	特異的IgE f6	大麦	大麦	16
	特異的IgE f7	オート麦	オート麦	16
	特異的IgE f8	トウモロコシ	トウモロコシ	16
	特異的IgE f9	米	米	16
	特異的IgE f10	ゴマ	ゴマ	16
	特異的IgE f11	ソバ	ソバ	16
	特異的IgE f12	エンドウ	エンドウ	16
	特異的IgE f13	ピーナッツ	ピーナッツ	16
	特異的IgE f14	大豆	大豆	16
	特異的IgE f15	インゲン	インゲン	16
	特異的IgE f17	ヘーゼルナッツ	ヘーゼルナッツ	16
	特異的IgE f18	ブラジルナッツ	ブラジルナッツ	16
	特異的IgE f20	アーモンド	アーモンド	16
	特異的IgE f23	カニ	カニ	16
#	特異的IgE f24	エビ	エビ	16

構成製品名		アレルゲン名	個数
特異的IgE f25	トマト	トマト	16
特異的IgE f26	豚肉	豚肉	16
特異的IgE f27	牛肉	牛肉	16
特異的IgE f31	ニンジン	ニンジン	16
特異的IgE f33	オレンジ	オレンジ	16
特異的IgE f35	ジャガイモ	ジャガイモ	16
特異的IgE f36	ココナッツ	ココナッツ	16
特異的IgE f37	ムール貝	ムール貝	16
特異的IgE f40	マグロ	マグロ	16
特異的IgE f41	サケ	サケ	16
特異的IgE f44	イチゴ	イチゴ	16
特異的IgE f45	ビール酵母	ビール酵母	16
特異的IgE f47	ニンニク	ニンニク	16
特異的IgE f48	タマネギ	タマネギ	16
特異的IgE f49	リンゴ	リンゴ	16
特異的IgE f50	サバ	サバ	16
特異的IgE f51	タケノコ	タケノコ	16
特異的IgE f54	サツマイモ	サツマイモ	16
特異的IgE f55	キビ	キビ	16
特異的IgE f56	アワ	アワ	16
特異的IgE f58	イカ	イカ	16
特異的IgE f59	タコ	タコ	16
特異的IgE f60	アジ	アジ	16
特異的IgE f61	イワシ	イワシ	16
特異的IgE f75	卵黄	卵黄	16
特異的IgE f76	α-ラクトアルブミン	α-ラクトアルブミン	10
特異的IgE f77	β-ラクトグロブリン	β-ラクトグロブリン	10
特異的IgE f78	カゼイン	カゼイン	10
特異的IgE f79	グルテン	グルテン	10
特異的IgE f80	ロブスター	ロブスター	10
特異的IgE f81	チーズ	チーズ	10
特異的IgE f82	モールドチーズ	モールドチーズ	10
特異的IgE f83	鶏肉	鶏肉	16
特異的IgE f84	キウイ	キウイ	10
特異的IgE f85	セロリ	セロリ	10
特異的IgE f86	パセリ	パセリ	10
特異的IgE f87	メロン	メロン	10
特異的IgE f88	羊肉	羊肉	10
特異的IgE f89	マスタード	マスタード	10
特異的IgE f90	麦芽	麦芽	10
特異的IgE f91	マンゴ	マンゴ	10
特異的IgE f92	バナナ	バナナ	10
特異的IgE f93	カカオ	カカオ	10
特異的IgE f94	洋ナシ	洋ナシ	10

	構成製品名		アレルゲン名	個数
	特異的IgE f95	モモ	モモ	10
	特異的IgE f96	アボカド	アボカド	10
#	特異的IgE f97	ヤマイモ	ヤマイモ	10
#	特異的IgE f202	カシューナッツ	カシューナッツ	10
	特異的IgE f207	アサリ	アサリ	10
	特異的IgE f209	グレープフルーツ	グレープフルーツ	16
	特異的IgE f214	ホウレンソウ	ホウレンソウ	16
	特異的IgE f225	カボチャ	カボチャ	16
	特異的IgE f233	オボムコイド	オボムコイド	10
	特異的IgE f254	カレイ	カレイ	16
#	特異的IgE f256	クルミ	クルミ	16
	特異的IgE f290	カキ(貝)	カキ(貝)	10
#	特異的IgE f329	スイカ	スイカ	10
	特異的IgE f338	ホタテ	ホタテ	10
	特異的IgE f349	イクラ	イクラ	10
	特異的IgE f350	タラコ	タラコ	10
#	特異的IgE f416	ω-5 グリアジン	ω-5 グリアジン	10
	特異的IgE g1	ハルガヤ	ハルガヤ花粉	16
	特異的IgE g2	ギョウギシバ	ギョウギシバ花粉	16
	特異的IgE g3	カモガヤ	カモガヤ花粉	16
	特異的IgE g4	ヒロハウシノケグサ	ヒロハウシノケグサ花粉	16
	特異的IgE g5	ホソムギ	ホソムギ花粉	16
	特異的IgE g6	オオアワガエリ	オオアワガエリ花粉	16
	特異的IgE g7	アシ	アシ花粉	16
	特異的IgE g8	ナガハグサ	ナガハグサ花粉	16
	特異的IgE g9	コヌカグサ(属)	コヌカグサ(属)花粉	16
	特異的IgE g10	セイバンモロコシ	セイバンモロコシ花粉	16
	特異的IgE g15	小麦(属)花粉	小麦(属)花粉	16
	特異的IgE g16	オオスズメノテッポウ	オオスズメノテッポウ花粉	16
	特異的IgE g17	スズメノヒエ(属)	スズメノヒエ(属)花粉	16
	特異的IgE h1	ハウスダスト1	ハウスダスト1	16
	特異的IgE h2	ハウスダスト2	ハウスダスト2	16
	特異的IgE i1	ミツバチ	ミツバチ毒	16
#	特異的IgE i3	スズメバチ	スズメバチ毒	16
	特異的IgE i4	アシナガバチ	アシナガバチ毒	16
	特異的IgE i6	ゴキブリ	ゴキブリ	16
	特異的IgE i7	ユスリカ(成虫)	ユスリカ(成虫)	16
	特異的IgE i8	ガ	カイコガ	16
	特異的IgE i71	ヤブカ(属)	ヤブカ(属)	10
	特異的IgE k72	オオバコ種子	オオバコ種子	10
	特異的IgE k75	イソシアネートTDI	イソシアネートTDI	10
	特異的IgE k76	イソシアネートMDI	イソシアネートMDI	10
	特異的IgE k77	イソシアネートHDI	イソシアネートHDI	10
	特異的IgE k79	無水フタル酸	無水フタル酸	10
	特異的IgE k80	ホルマリン	ホルマリン	10
	特異的IgE k82	ラテックス	ラテックス	10
	特異的IgE m1	ペニシリウム	ペニシリウム	16
	特異的IgE m2	クラドスポリウム	クラドスポリウム	16
	特異的IgE m3	アスペルギルス	アスペルギルス	16
	特異的IgE m4	ムコール	ムコール	16
	特異的IgE m5	カンジダ	カンジダ	16
	特異的IgE m6	アルテルナリア	アルテルナリア	16
	特異的IgE m8	ヘルミントスポリウム	ヘルミントスポリウム	16
	特異的IgE m80	黄色ブドウ球菌A	黄色ブドウ球菌エンテロトキシンA(S.エンテロトキシンA)	10
	特異的IgE m81	黄色ブドウ球菌B	黄色ブドウ球菌エンテロトキシンB(S.エンテロトキシンB)	10
	特異的IgE m205	トリコフィトン	トリコフィトン	16
#	特異的IgE m227	マラセチア(属)	マラセチア(属)	10
	特異的IgE o1	綿	綿	16

	構成製品名		アレルゲン名	個数
	特異的IgE p1	カイチュウ	カイチュウ	16
	特異的IgE p4	アニサキス	アニサキス	16
	特異的IgE t1	カエデ(属)	カエデ(属)花粉	16
	特異的IgE t2	ハンノキ(属)	ハンノキ(属)花粉	16
	特異的IgE t3	シラカンバ(属)	シラカンバ(属)花粉	16
	特異的IgE t5	ブナ(属)	ブナ(属)花粉	16
	特異的IgE t6	ビャクシン(属)	ビャクシン(属)花粉	16
	特異的IgE t7	コナラ(属)	コナラ(属)花粉	16
	特異的IgE t8	ニレ(属)	ニレ(属)花粉	16
	特異的IgE t9	オリーブ	オリーブ花粉	16
	特異的IgE t10	クルミ(属)花粉	クルミ(属)花粉	16
	特異的IgE t12	ヤナギ(属)	ヤナギ(属)花粉	16
	特異的IgE t16	マツ(属)	マツ(属)花粉	16
	特異的IgE t17	スギ	スギ花粉	16
	特異的IgE t19	アカシア(属)	アカシア(属)花粉	16
#	特異的IgE t24	ヒノキs	ヒノキ花粉	16
	特異的IgE t70	クワ(属)	クワ(属)花粉	10
#	特異的IgE w1	ブタクサs	ブタクサ花粉	16
	特異的IgE w2	ブタクサモドキ	ブタクサモドキ花粉	16
	特異的IgE w3	オオブタクサ	オオブタクサ花粉	16
	特異的IgE w5	ニガヨモギ	ニガヨモギ花粉	16
	特異的IgE w6	ヨモギ	ヨモギ花粉	16
	特異的IgE w7	フランスギク	フランスギク花粉	16
	特異的IgE w8	タンポポ(属)	タンポポ(属)花粉	16
	特異的IgE w9	ヘラオオバコ	ヘラオオバコ花粉	16
	特異的IgE w10	シロザ	シロザ花粉	16
	特異的IgE w12	アキノキリンソウ	アキノキリンソウ花粉	16
	特異的IgE w18	ヒメスイバ	ヒメスイバ花粉	16
	特異的IgE w20	イラクサ(属)	イラクサ(属)花粉	16
	特異的IgE w22	カナムグラ	カナムグラ花粉	16
	特異的IgE ex2	動物上皮	動物上皮	16
	特異的IgE fx5	食物	食物	16
	特異的IgE fx6	穀物	穀物	16
	特異的IgE gx5	イネ科	イネ科花粉	16
	特異的IgE mx2	カビ	カビ	16
	特異的IgE wx5	雑草	雑草花粉	16

＜注意＞
使用検体は以下の通りとする。
無印：血清又は血漿
＃印：血清のみ

【問い合わせ先】

サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社
東京都港区芝浦4-2-8
TEL：03-6872-6200

【製造販売元】

サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社
東京都港区芝浦4-2-8　住友不動産三田ファーストビル